

教科	こころとからだの理解①	学科・学年	社会福祉科・1年	単位数	2単位
目標	1. 人体の構造や機能、脳のつくりとはたらきを理解し、さらに、それらの知識を基礎に利用者の身じたくや食事等の生活を支える介護技術との関連性を学ぶ。 2. こころとからだの基礎的な知識を身につけ、介護実践に適切に活用できる能力を養う。				
評価方法	1. 授業態度、出席状況 2. 授業プリントの記入状況 3. 課題の提出状況 4. 定期テスト などから総合的に評価する。				
評価観点	【関心・意欲・態度】こころとからだのしくみについて関心を持ち、学習内容理解のために意欲的に取り組む態度を身につけている。 【思考・判断】人体の構造と機能について自ら思考を深め、適切な介護方法との関連性について考察できる。 【技能・表現】学習内容について、専門用語を用いて適切に表現することができる。 【知識・理解】こころとからだのしくみについての知識を身につけ、日常生活との関連性や介護技術との関連性を理解している。				
使用教科書	こころとからだのしくみ（メヂカルフレンド社）				
使用副教材	なし				
月	学習内容	学習のねらい	学習活動		
4	1. 生きているしくみの理解 (1)身体の成り立ちの理解 (2)生命活動を調節するしくみ (3)外界の変化に対応し、調節・修復・再生するしくみ	☐ 人体各部の名称を理解する。 ☐ 細胞・組織・器官・器官系を理解する。 ☐ 身体の防御のしくみを理解する	・講義 ・授業プリントの記入 ・小テスト		
5・6	4. 活動に関連したこころとからだのしくみ	☐ 筋・骨格系のしくみを理解する。 ☐ からだの動きを理解する。 ☐ 関節可動域を理解する。 ☐ 良肢位について理解する。 ☐ ボディメカニクスについて理解する。 ☐ 活動に関連したからだのしくみを理解する。 ☐ 活動の低下・障害が及ぼすこころとからだへの影響を理解する。	・講義 ・授業プリントの記入 ・小テスト ・中間テスト [点]		
7	1. 生きているしくみの理解 (1)身体の成り立ちの理解 6. 入浴・清潔保持に関連したこころとからだのしくみ	☐ 呼吸器系のしくみを理解する。 ☐ バイタルサインの正常値と測定方法を理解する。 ☐ 入浴・清潔保持に関連する基礎知識を理解する。 ☐ 入浴・清潔保持の実際を理解する。 ☐ 機能の低下・障害が及ぼす入浴・清潔保持への影響を理解する。	・期末テスト [点] ・講義 ・実習（バイタルサインの測定） ・授業プリントの記入 ・自己評価 A ☐ B ☐ C ☐		
反省					

9	1. 生きているしぐみの理解 (1)身体の成り立ちの理解 5. 食事に関連したところとからだのしくみ 7. 排泄に関連したところとからだのしくみ	☐循環器系のしくみを理解する。 ☐消化器系のしくみを理解する。 ☐食事に関する基礎知識を理解する。 ☐食事に関連したところとからだのしくみを理解する。 ☐機能の低下・障害が及ぼす食事への影響を理解する。 ☐安全な食事のための留意点を理解する。 ☐泌尿器系のしくみを理解する。 ☐生殖器系のしくみを理解する。 ☐排泄に関連する基礎知識を理解する。 ☐排泄の意義としぐみを理解する。 ☐機能の低下・障害が及ぼす排泄への影響を理解する。 ☐異常の発見のために注意すべき変化を理解する。 ☐内分泌系のしくみを理解する。 ☐感覚器系のしくみを理解する。	・講義 ・授業プリントの記入 ・小テスト ・中間テスト [点] ・講義 ・授業プリントの記入 ・期末テスト [点] ・自己評価 A ☐ B ☐ C ☐
反省			
1	1. 生きているしぐみの理解 (1)身体の成り立ちの理解 2. こころのしくみの理解	☐脳・神経系のしくみを理解する。 ☐脳のつくりと働きを理解する。 ☐こころと脳のつながりを理解する。	・講義 ・授業プリントの記入
2	3. 身じたくに関連したところとからだのしくみ 8. 睡眠に関連したところとからだのしくみ	☐身じたくの意義を理解する。 ☐身じたくに関連する基礎知識を理解する。 ☐機能の低下・障害が及ぼす身じたくへの影響を理解する。 ☐異常の発見のために注意すべき変化を理解する。 ☐睡眠に関する基礎知識を理解する。 ☐睡眠に関連したところとからだのしくみを理解する。 ☐高齢者の睡眠障害を理解する。	・講義 ・授業プリントの記入 ・学年末テスト [点] ・自己評価 A ☐ B ☐ C ☐
3	9. 死にゆく人のところとからだのしくみ	☐死のとらえ方を理解する。 ☐終末期から危篤時・死亡時のからだの変化を理解する。	・講義 ・授業プリントの記入
反省			

